

ヒートポンプ ユニット

RHP-R222(E)・RHP-R222(E)-E
RHP-R223(E)・RHP-R223(E)-E



ご愛用の皆様へ

このたびは、ハイブリッド給湯システムをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書では、システムを構成する機器のうち、ヒートポンプユニットについて記載しております。お使いになる前に、この説明書とガス熱源機およびタンクユニットの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- お読みになった後は、設置工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 設置工事説明書を必ず設置工事店(販売店)から受け取ってください。
- お客様自身では設置しないでください。安全や機能の確保ができません。

ECO ONE

安全上のご注意

ご使用にあたって

各部の名称

メンテナンス

点検について

知っておいてください

アフターサービスについて

主な仕様

安全上のご注意

本システムを安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は次のようになっています。

内容の区分

表 示	⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
意 味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる軽傷、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

軽 傷： 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害： 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の意味

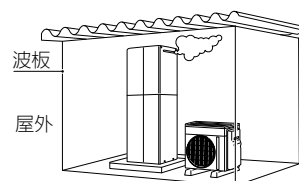
 一般的な禁止	 分解禁止	 必ず行うこと	 必ずアース線を接続する アースする	 ぬれ手禁止
---	---	---	--	--

⚠ 危険

屋内設置禁止



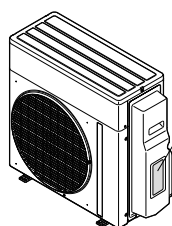
- このシステムは屋外設置専用です。絶対に屋内（波板囲いを含む）には設置しないでください。ガス熱源機の不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。また、万が一ヒートポンプユニットの冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至るおそれがあります。



⚠ 警告

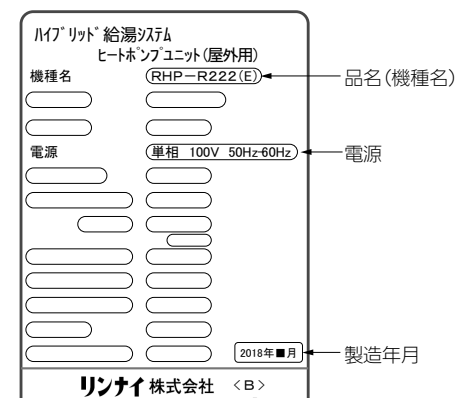
機器の銘板を確認

使用する機器が使用する電源（AC100V・50-60Hz 共用）に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外の電源を使用すると機器が故障する場合がありますので使用しないでください。



※この機器の銘板はカバーのここに貼ってあります。

※下図は銘板の一例です。



この機器はAC100V(50-60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

警告

施工確認



■ヒートポンプユニットが屋内に設置されていないことを確認する

万が一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故(脳機能障害など)に至ることがあります。

■分電盤の配線用しゃ断器およびヒートポンプユニットの漏電しゃ断器の動作を確認する

故障のまま使用すると感電することがあります。

故障の場合はお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

アース工事



アースする

■アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店または施工店にお問い合わせください。なお、アース工事は本製品の価格には含まれていません。

電源「切」



■異常時(焦げ臭いなど)は、分電盤の配線用しゃ断器またはヒートポンプユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを下げて電源を「OFF」・「切」にし、お買い上げの販売店または当社お客様センターに連絡する

※ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合は、ヒートポンプの漏電しゃ断器を「OFF」するかタンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜く。

分電盤で「OFF」にすると同一回路のコンセントに接続されている機器の電源がOFFになります。

リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

異常のまま使用すると、故障や感電・火災の原因になります。

分解禁止



■機器を分解しない

分解すると感電することがあります。

修理の場合はお買い上げの販売店または当社お客様センターにご相談ください。

リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

■改造をしない、修理技術者以外の人分解・修理をしない

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

電源ケーブル・プラグについて(電源の専用配線をしている場合を除く)



■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。



■雨が降り出している場合は電源プラグを抜かない

感電のおそれがあります。

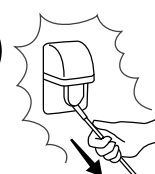
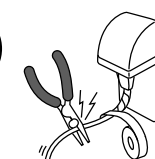
■電源ケーブルを切断して延長はしない

電源ケーブルがコンセントに届く範囲としてください。

感電や火災などの原因になります。

■電源ケーブルを引っばって電源プラグを抜かない

電源ケーブルを引っばると破損して感電や火災の原因になります。



安全上のご注意

警告



■可燃性ガスや引火物を近くに置かない

発火・火災になるおそれがあります。

■電源ケーブルを破損させたり、加工したり、傷んだままや束ねたまま使用しない

故障や感電・火災の原因になります。

■ヒートポンプユニットのフィンや空気吹出口に棒や指を入れない

けがや機器故障の原因になります。

■熱いとき、ヒートポンプユニットの接続口や水抜き栓、配管にはさわらない

運転中および停止直後は熱くなっており、やけどのおそれがあります。

■分電盤の配線用しゃ断器またはヒートポンプユニットの漏電しゃ断器の操作をするとき、濡れた手で操作しない

感電の原因になります。



■電源プラグは根元まで完全に差し込む (電源の専用配線をしている場合を除く)

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く (電源の専用配線をしている場合を除く)

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



■アースされていることを確認する

この機器はアースが必要です。

注意



■キッチンの換気扇の近くには設置していないことを確認する。

油分の付着や燃焼排ガスにより、性能低下や機器故障の原因になります。

■ヒートポンプユニットは、小動物のすみかになるような場所には設置していないことを確認する。

小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。また、周辺をきれいに保つようにしてください。

■冬期、凍結のおそれがある時は、分電盤の配線用しゃ断器またはヒートポンプユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」・「切」にしない

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

■機器の上に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えたりしない

本体が転倒したり、配管が破損して事故・やけどの原因になります。

とくに、幼児・子供に注意してください。

■ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンにさわらないこと

けがの原因になります。 ※蒸発器のフィンについては6ページを参照願います。

■ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

ヒートポンプユニットが落下、転倒しけがをすることがあります。

■塩害地には設置しない

機器故障の原因になります。 ※塩害仕様(RHP-R222(E) -E、RHP-R223(E) -E)は除く

■ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。

注意



■ヒートポンプユニットの周辺にぬれて困るものは置かない

ドレン水が出ます。

■動植物に直接風を当てない

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

施工確認



■ヒートポンプユニットの脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと、地震のとき倒れてけがをすることがあります。

■ヒートポンプユニットが隣家に配慮した場所に設置しているか確認する

運転音や振動が伝わり隣家に迷惑がかかる場合があります。



■分電盤の配線用しゃ断器またはヒートポンプユニットの漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」・「切」にするときは、機器と配管内の水を確実に抜く

ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムで漏電しゃ断器を「OFF」するか、タンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜く場合も水抜きしてください。

配管が凍結し、水漏れすることがあります。

■床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる場合があります。

■端子台カバー・配管カバーは閉じる

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

■長期間使用しないときは、機器の排水をする

排水をしないと水質が変化することがあります。

■積雪時には除雪をする

ヒートポンプユニットの周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

■積雪地域に設置する場合は、ヒートポンプユニットを落雪から保護するため、防雪屋根を設置したり、軒下などに据え付けてください。

降雪や除雪による雪が、空気吸込口、吹出口をふさいだり、入りこまないように架台(別売部品)の上に載せて防雪対策を行ってください。

- ヒートポンプユニットは単相2線式 AC100V (50-60Hz 共用) です。所定電源以外を使用すると火災や故障、感電の原因となります。
- この機器は一般家庭用です。業務用途にはご使用にならないでください。業務用途でご使用になると著しく寿命を縮める原因となります。

機器は安全に正しく設置してあることを確認してください。

- このシステムで使用する水は、必ず水道法に定められた、飲料水の水質基準に適合した水とし、温泉水や地下水や井戸水では使用しないでください。また、水道水であっても塩分・石灰分やその他の不純物が含まれていたり、水質が酸性の地域では使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- ソーラー（太陽熱温水）システムには接続しないでください。高温水で機器故障の原因となります。

火災予防について

- 機器を設置する場所の周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置してあることを確認してください。

設置場所(雰囲気)について

- 機器は豪雨などのときにも冠水することがなく、排水が十分にできることを確認してください。漏電や故障の原因となります。
- 機器は水平に設置してあることを確認してください。

保守・点検のためのスペース

- 機器の点検・修理ができるよう十分なスペースを確保してあることを確認してください。
(右側 300mm、上側 300mm 以上の確保)

ご使用にあたって

このハイブリッド給湯システムは、ヒートポンプユニットとタンクユニット・ガス熱源機から構成されています。本説明書ではヒートポンプユニットについて説明します。

お願い

機器周辺部の点検

- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものが置かれている場合は取り除いてください。性能低下や故障の原因となります。
- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。誤動作や故障の原因となります。
- テレビ・ラジオのアンテナより3m以上離してください。テレビ・ラジオに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

機器の設置状況などを確認する

- 以下の場所に設置されている場合は、事故や故障の原因となります。
 - ・ 最低気温が -10°C （タンクユニットが寒冷地仕様の場合は -15°C ）以下となる場所
 - ・ 屋内
 - ・ 階段・避難口などの付近で、避難の支障となる場所
 - ・ 塩害地（塩害仕様は除く）
 - ・ 潮風が直接当たる場所（塩害仕様でも傷むことがありますので避けてください）
 - ・ 冠水する場所や排水しにくい場所
- ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）に設置されている場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ㈱ お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。

停電時のご注意

- 停電すると使用できません。
- 冬期などに停電した場合は、凍結のおそれがあります。9 ページの水抜き方法を参照し、機器の水抜きを行ってください。
- 停電時に、蓄電池でヒートポンプユニットを運転させるためには、停電検知ユニットが必要です。詳しくは、設置工事店に確認してください。

お知らせ

- ヒートポンプユニットは、給湯器のように出湯時に必ず運転するものではありません。また、出湯していない状態でも貯湯や凍結予防等のヒートポンプ運転を行う場合があります。

ヒートポンプの電源の取り方は2種類あります。

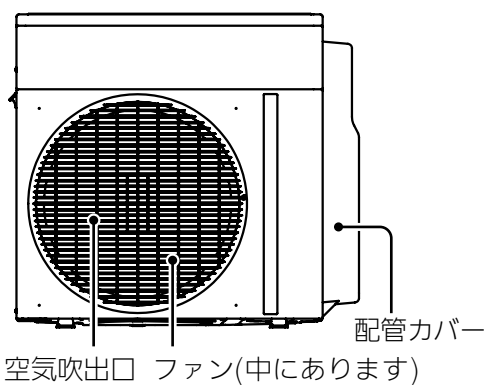
【ヒートポンプ専用電源のシステム】	【ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステム】
分電盤 ヒートポンプユニット 専用配線	タンクユニット ヒートポンプユニット 屋外コンセント ヒートポンプ電源プラグ 専用タンクユニットとの接続が必要です

各部の名称

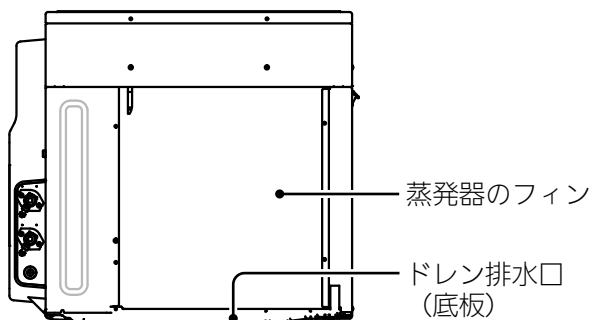
ヒートポンプユニット

<RHP-R222シリーズ>

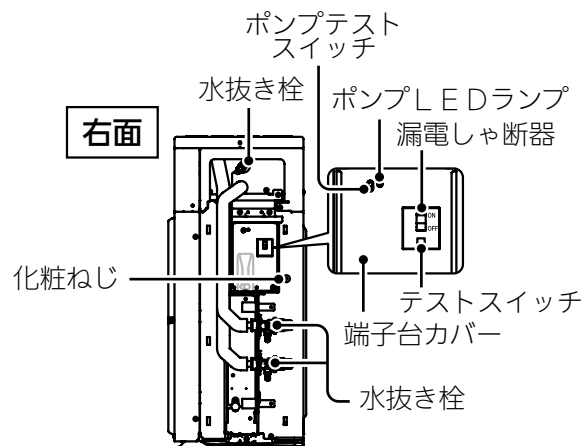
正面



背面

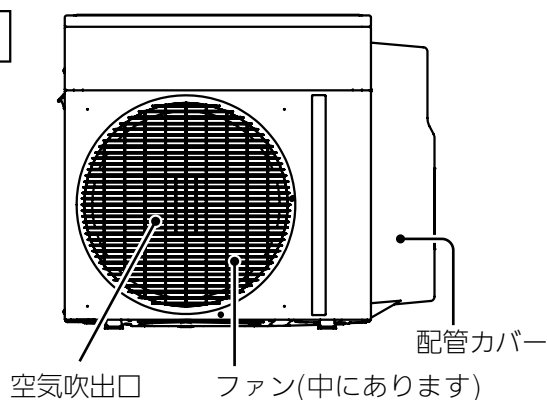


右面

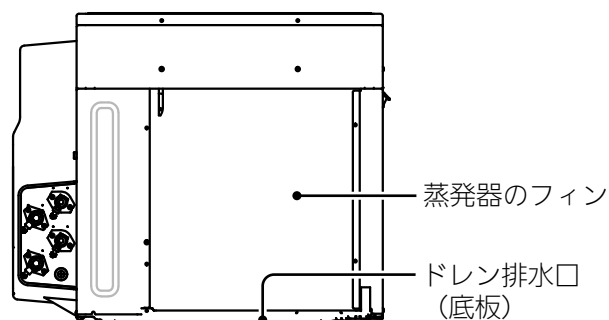


<RHP-R223シリーズ>

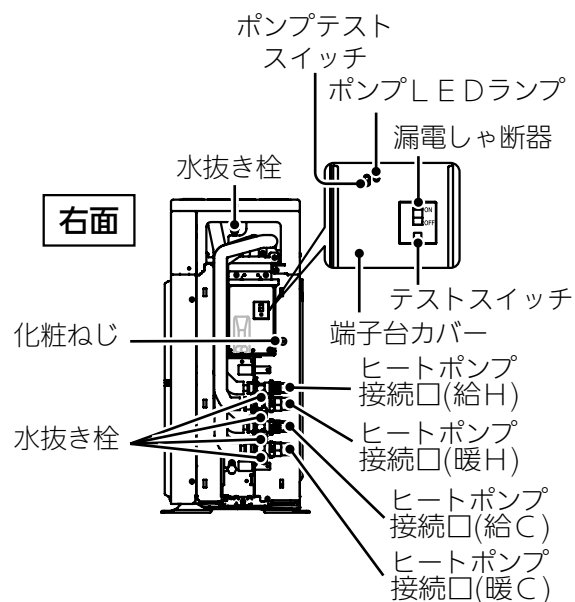
正面



背面



右面



メンテナンス

長期間使用しないとき

- 冬期に、数日間お使いにならないときは、各部の排水および水抜きを行ってください。また、凍結による不具合防止のため、システムの通電を行わないときは、水抜きを行ってください。(P.9ページ)
- 長期間お使いにならないと、ヒートポンプユニット内の水は変質のおそれがありますので、必ずすべて排水してください。暖房回路に不凍液が入っている場合は、不凍液を抜く必要はありません。

⚠注意

- 長期間使用しないときは、ヒートポンプユニットの水を抜く。(水質変化の原因)
- 配管の凍結予防ヒータの電源は「切」にしない。(配管凍結・水漏れの原因)

※タンクユニットおよびガス熱源機の水抜きは、それぞれの機器の取扱説明書に従って行ってください。

⚠警告

- 排水時はやけどに注意する。

- ヒートポンプユニット水抜き完了後、しばらく放置して水が排出されたことを確認してからすべての水抜き栓・空気抜き栓を閉じる。

🏠お願い

- 配管の水は完全に抜けないので、配管の凍結予防ヒータは「切」にしないでください。

冬期の凍結による破損防止について

- 寒い季節になったら凍結予防処置が行われているか（凍結予防ヒータの電源を「入」にするなど）確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、外気温0℃以下では配管の滞留水が凍結し機器や配管が破損したりすることがあります。設置工事店に相談し適切な凍結予防策を施してください。凍結による故障は保証期間内でも有償修理となります。

🗣お知らせ

ヒートポンプユニットの凍結予防運転

- タンクユニットの水抜きをしない場合、ヒートポンプユニットの電源は「ON」のままにしてください。
- 外気温が下がると給水ポンプが運転し、ヒートポンプユニットとタンクユニットの凍結を防止しますが、さらに気温が下がると自動的にヒートポンプ運転を開始して凍結を防止します。

電源の切りかた

長期間使用しないときなどは、下記の方法で電源を切ったあと水抜きを行ってください。

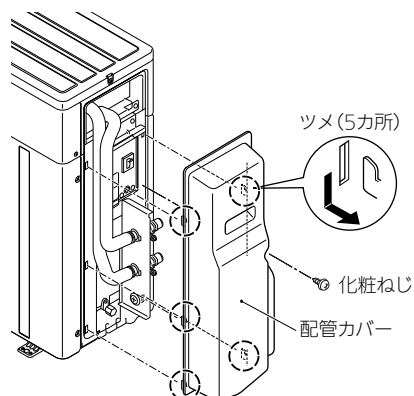
- 分電盤の配線用しゃ断器で「切」(OFF)にする。

または、ヒートポンプユニットの配管カバーを取りはずして(化粧ねじ1本)、漏電しゃ断器を「OFF」にする。

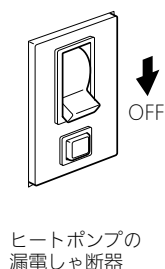
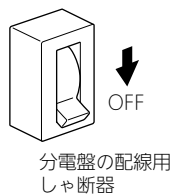
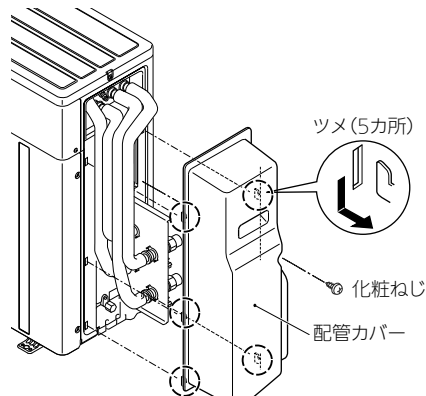
※ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合は、ヒートポンプの漏電しゃ断器を「OFF」するかタンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜く。

分電盤で「OFF」にすると、同一回路のコンセントに接続されている機器の電源がOFFになります。

< RHP-R222 シリーズ >



< RHP-R223 シリーズ >



- システム全体の電源を切る場合は、ガス熱源機(タンクユニット含む)の電源プラグも抜いてください。

⚠注意

- ハイブリッド給湯システムや凍結予防ヒータの電源を「切」にする場合は、システムの水抜きを行う。凍結すると配管などが破裂し、やけどや水漏れのおそれがあります。

メンテナンス

水抜き

水抜きするときは、タンクユニット取扱説明書の説明に沿って作業してください。システムとしての説明が詳しく記載されています。

- ヒートポンプユニットの水抜き栓の位置は6ページを参照してください。

⚠ 警告

- 漏電しゃ断器は濡れた手で操作しない。感電のおそれがあります。
- 水抜きするときは出てくるお湯でやけどをしないよう、十分に注意して行う。

- 水抜き終了後は、タンクユニット、ガス熱源機、ヒートポンプユニットのすべての水抜き栓・空気抜き栓・給湯栓・排水栓を閉め、逃し弁レバーなどを必ず元通りにしてください。
- ヒートポンプの配管カバー、タンクユニットの前板下などのカバー類を元通りに取り付けてください。

⚠ 注意

- 配管カバーが確実に固定されていることを確認してください。
取付ねじがゆるんではずれていたりすると、思わぬ事故の原因になります。

再び使用するとき

再び使用するときは、タンクユニット取扱説明書の説明に沿って作業してください。システムとしての説明が記載されています。

- ヒートポンプユニットの水抜き栓の位置は6ページを参照してください。

点検について

日常点検

● 1 カ月に 1 回程度の点検

《漏電しゃ断器の動作点検》

漏電しゃ断器の点検は電源供給中に行ってください。

※電源供給中は、ポンプ LED ランプが点滅しています。

(電源 OFF で、ポンプ LED ランプは消灯します。)

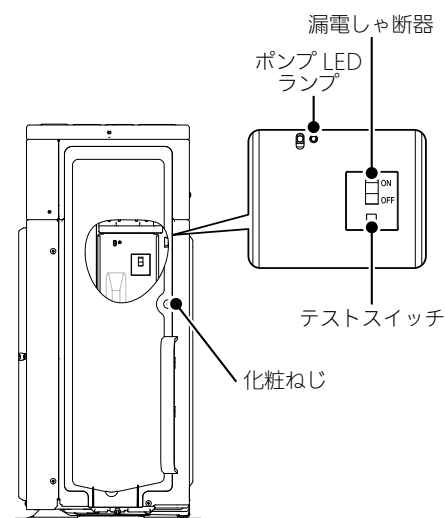
アース線が途中で切れていないことを確認してください。

- ・カバーを開け(化粧ねじ 1 本)、漏電しゃ断器のテストスイッチを押してください。
- ・電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。
(レバーが勢いよく下がりますので注意してください)
「OFF」にならない場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ㈱ お客様センター

フリーダイヤル : 0120 - 054 - 321

- ・電源プラグは根元まで完全に差し込まれていること、ほこりなどがたまっていないことを確認してください。(電源の専用配線をしている場合を除く)
- ・点検後は必ず電源レバーを「ON」に戻してください。



● 6 カ月に 1 回以上の点検

《配管の点検》

- 水漏れや保温材の破損など点検します。特に冬期に入る前には、保温材のチェックを行います。
破損している場合、凍結や機器が破損することがあります。

お願い

- 沿岸部で潮風に当たりやすい地域でご使用の場合は、潮風に含まれる塩分によって機器本体や配管接続部にさびが発生しやすくなります。外観上のさびがひどい場合は、機器内部の部品への影響も考えられますので、点検(有料)をお願いします。また、万が一本体に穴があいた場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。
- 本体や周辺配管から水漏れが生じた場合は、給水元栓を閉めて、分電盤の配線用しゃ断器または機器の漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」(切)にしてお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

※ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合は、ヒートポンプの漏電しゃ断器を「OFF」するか、タンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜く。

分電盤で「OFF」にすると、同一回路のコンセントに接続されている機器の電源がOFFになります。

その際、ガス熱源機(タンクユニット含む)の電源プラグもコンセントから抜いて電源を切ってください。

リンナイ㈱ お客様センター フリーダイヤル : 0120 - 054 - 321

定期点検

4 ～ 6 年に 1 度の定期点検(有料)のおすすめ

本機は年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により、機能・性能を十分に発揮できなくなることがあります。

長期間にわたり安全で快適にお使いいただくためには4～6年毎に専門技術者による定期点検整備(有料)を行ってください。

定期点検整備については、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご相談ください。

リンナイ㈱ お客様センター フリーダイヤル : 0120 - 054 - 321

使用条件・環境条件によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。

※部品交換時は純正部品をご指定ください。部品交換は有料で交換します。

知っておいてください

- 外気温とヒートポンプ加熱能力について
外気熱をくみ上げるシステムのため、外気温が低くなると沸き上げ能力が低下し、貯湯に時間がかかる場合があります。
- ヒートポンプユニットの自動除霜運転について
 - ・ 外気温が下がり、湿度が高いときはヒートポンプユニットの熱交換器に霜や氷が付着して加熱能力が下がります。そのため自動除霜運転を行い、この間はタンク貯湯やヒートポンプの暖房運転は行いません。
 - ・ 除霜運転中はヒートポンプユニットから音がすることがありますが、異常ではありません。除霜運転終了後は、再度タンク貯湯運転やヒートポンプの暖房運転を行います。
- ヒートポンプユニットの結露水について
湿度の高いときの運転時や自動除霜運転時には、熱交換器に結露した水がドレン排水口から排水されます。

故障かな？と思ったら

こんなときは故障ではありません。

ヒートポンプユニットが運転・停止を繰り返す。

気温が低いときは熱交換器の除霜のためファンの運転・停止を繰り返します。

沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器（熱交換器）が霜で白くなる。

冬季運転中は霜が付くことがあります。霜が多くなると自動除霜運転をします。
このとき霜が水や湯気になって取り除かれます。

沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン排水口から水が出る。

ヒートポンプが外気から熱を吸収するとき、結露した水が出てきます。

寒いとき、ポンプ運転音がする。

凍結予防のためポンプが自動運転します。異常ではありません。

リモコンの運転スイッチを切ってもヒートポンプユニットが動く。

リモコンの運転スイッチを切ってもヒートポンプユニットは停止しません。
また、外気温度が低下すると、凍結予防のため自動運転します。

お湯から油が出る。お湯が臭い。

初めて使用するときは、配管工事のときの油分などがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

ヒートポンプユニットの架台が白く変色している。

架台の表面処理材料である溶融亜鉛めっきの特性であり、異常ではありません。変色しても耐久性に問題ありません。

ヒートポンプが運転しない

ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合、外気温度が約 5℃ 以下になるとヒートポンプの運転を行いません。

分電盤のブレーカが作動する

ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合、同一回路のコンセントに接続されている機器（洗濯機、シャワートイレ、ドライヤーなど）を使用するとブレーカが作動することがあります。
頻繁に発生する場合は当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

リモコンに故障表示が表示されたとき

システムに不具合が発生すると、リモコンの表示画面に故障表示が点滅します。ヒートポンプユニットの故障に起因する故障表示には下記のようなものがあります。下記以外の故障表示が表示されたときは、タンクユニット取扱説明書を参照してください。

故障表示			
018	288	548	788
028	308	578	798
029	318	648	968
038	338	708	978
048	348	718	A18
058	358	728	A28
108	408	738	A38
148	478	748	A48
158	518	758	A58
218	528	768	A68
268	538	778	

- ヒートポンプユニットが故障しても、ガス熱源機の運転が正常であればお湯を使うことはできますが、お早めにお買い上げの販売店または当社お客様センターに修理を依頼してください。
 - システムが全停止した場合は、給水元栓を閉め、分電盤の配線用しゃ断器またはヒートポンプユニットの漏電しゃ断器を「OFF」(切)に、ヒートポンプ電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合は、ヒートポンプの漏電しゃ断器を「OFF」するか、タンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜き、ガス熱源機(タンクユニット含む)の電源プラグを抜いて、速やかにお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- ※冬期の凍結のおそれがある時期に故障表示が出たときは、分電盤の配線用しゃ断器、ヒートポンプユニットの漏電しゃ断器および凍結予防ヒータの電源を「切」にするかタンクユニットから出ているヒートポンプの電源プラグを抜くと、配管凍結により故障が拡大する場合がありますので、速やかにお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ㈱ お客様センター
フリーダイヤル：0120－054－321

アフターサービスについて

■サービスを依頼される時

- まず 11 ページの「知っておいてください」をご確認ください。確認の上それでも異常がある、あるいはご不明な場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ㈱ お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。

- ①お名前・ご住所・電話番号
- ②品名：ヒートポンプユニット（例）RHP-R222(E)
- ③現象：リモコン時計表示部の故障表示などできるだけ詳しく
- ④訪問希望日・時間

■保証について

- このハイブリッド給湯システムは、ヒートポンプユニットとタンクユニットおよびガス熱源機のそれぞれに保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 保証期間終了後の修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草の侵入など）による故障は、保証期間内でも有料となりますのでご承知おきください。
- この機器は BL 認定品ですので「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

※一部 BL 認定品でないシステムがありますので、詳細については、当社ハイブリッド給湯・暖房システムカタログをご覧ください。

- 一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

■補修用性能部品の保有期間について

- BL 認定品の補修用性能部品の保有期間は製品本体の製造打切後 10 年、その他の機器は 7 年です。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ㈱ お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

■機器を廃棄する際には

- ヒートポンプユニットには冷媒として HFC（代替フロン）が使用されています。ヒートポンプユニットを廃棄する際には HFC の回収が必要ですので、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

リンナイ㈱ お客様センター フリーダイヤル：0120 - 054 - 321

■お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報をサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

■交換部品のお求めは

- 当社交換部品・お手入れ品の販売サイト（R.STYLE）では、交換部品やお手入れ品などを幅広く取り扱っております。交換部品はお客様自身でお取り替えできる部品が対象です。

汚れた部品を交換しましょう！

R.STYLE

消耗品・交換部品のネット販売

当社製品の交換部品・お手入れ品をインターネット販売サイトよりご注文いただけます。

<http://www.rinnai-style.jp/>

主な仕様

ヒートポンプユニット

項 目	仕 様		
品 名	RHP-R222 (E)・RHP-R222 (E)-E		
シ ス テ ム の 呼 び 方	ハイブリッド給湯システム		
設 置 方 式	屋外設置型		
外 形 寸 法 (mm)	幅 755 × 奥行 297 × 高さ 690		
質 量	36kg		
冷 媒	冷媒 R32 冷媒封入量 460g		
設 計 圧 力	4.17MPa		
電 源	単相 100V 50-60Hz		
最 大 電 流	15A※1		
消 費 電 力	待機時 1.0W、作動時最大 1200W※2		
沸 上 げ 温 度 範 囲	25 ～ 65℃		
沸き上がり温度 45℃のとき	中間期※3	夏期※4	冬期※5
	加熱能力 (kW)	2.6	2.5
	消費電力 (W)	480	510
	運転電流 (A)	6.3	——
タンクユニットとの接続口径	15A (R1/2)		
安 全 装 置	漏電しゃ断器・過熱防止装置		
給 水 装 置 認 証 番 号	W052-20022-199		

項 目	仕 様			
品 名	RHP-R223 (E)・RHP-R223 (E)-E			
シ ス テ ム の 呼 び 方	ハイブリッド給湯・暖房システム			
設 置 方 式	屋外設置型			
外 形 寸 法 (mm)	幅 815 × 奥行 297 × 高さ 690			
質 量	40kg			
冷 媒	冷媒 R32 冷媒封入量 510g			
設 計 圧 力	4.17MPa			
電 源	単相 100V 50-60Hz			
最 大 電 流	15A			
消 費 電 力	待機時 1.0W、作動時最大 1450W			
沸 上 げ 温 度 範 囲	25 ～ 65℃			
沸き上がり温度 45℃のとき	中間期※3	夏期※4	冬期※5	暖房※6
	加熱能力 (kW)	2.6	2.5	2.2
	消費電力 (W)	480	510	536
	運転電流 (A)	6.3	——	——
タンクユニットとの接続口径	給湯 15A (R1/2) 暖房 20A (R3/4)			
安 全 装 置	漏電しゃ断器・過熱防止装置			
給 水 装 置 認 証 番 号	W052-20022-199			

注) 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。

加熱能力試験の作動条件は、沸き上げ温度 45℃ (暖房：出湯温度 40℃、入水温度 30℃) で、

※1 電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合 10A

※2 電源を屋外コンセントに接続するシステムの場合はシステム全体で最大 900W

※3 中間期：外気温 (DB/WB) 16℃ /12℃、水温 17℃

※4 夏 期：外気温 (DB/WB) 25℃ /21℃、水温 24℃

※5 冬 期：外気温 (DB/WB) 7℃ /6℃、水温 9℃

※6 暖 房：外気温 (DB/WB) 7℃ /6℃

となります。

リンナイ ヒートポンプユニット 保証書

RHP-R222(E)・RHP-R222(E)-E・RHP-R223(E)・RHP-R223(E)-E

この製品は厳密なる品質管理および検査と経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うこととお約束するものです。

記

- 保証期間はご購入の日からBL認定品は2年間(熱交換器と圧縮機は3年間)、その他の機器は1年間とし、ヒートポンプユニット本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、ご購入の販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるご購入の販売店に修理がご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル: 0120-054-321
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、ご購入の販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、ご購入の販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
 - (ニ) 火災・凍結・水害・地震・落雷・ばい煙・降灰・酸性雨・異常気象その他の天災地変や公害・塩害・ほこり・腐食性の有害ガス・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形等、機器本体以外に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等によって生じる外観上の現象。
 - (ヘ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - (ト) 本書の提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
 - (リ) 指定外の使用電源(電圧)の使用による故障および損傷。
 - (ヌ) 温泉水・井戸水・地下水を給水したことに起因する不具合。
 - (ル) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調節の場合。
 - (ロ) 水道管の錆びなど、異物の流入による故障および損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店または当社お客様センターにお問合わせください。
リンナイ(株) お客様センター
フリーダイヤル: 0120-054-321
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

ご購入の日および販売店名

お客様	お名前	販売店	店名	
	ご住所		住所	扱者印
	お買い上げ日		年 月 日	電話番号

修理記録

この機器の修理記録は、機器内に収納の故障診断シートに記録します。

お客様へ

この保証書をお受取りになるときにご購入の日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ 株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表052(361)8211



連絡先

本 社 ☎052(361)8211 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
関 東 支 社 ☎03(3471)9047 〒140-0002 東京都品川区東品川1-6-6
東 京 支 店 ☎03(3471)9047 〒140-0002 東京都品川区東品川1-6-6
北関東支店 ☎048(770)6001 〒362-0014 上尾市本町3丁目3番7号
東関東支店 ☎043(273)3360 〒261-0026 千葉市美浜区幕張西2丁目7-1
南関東支店 ☎045(320)3051 〒221-0825 横浜市神奈川区反町2-16-8
東 北 支 社 ☎022(288)3251 〒984-0038 仙台市若林区伊在3丁目1-2

北海道支店 ☎011(530)5555 〒060-0057 札幌市中央区南7条東1丁目1番1
新 潟 支 店 ☎025(247)6610 〒950-0864 新潟市東区紫竹2丁目1-74
中 部 支 社 ☎052(363)8001 〒454-0806 名古屋市中川区澄池町14-27
関 西 支 社 ☎06(6786)3612 〒532-0005 大阪市淀川区三国本町1-10-40
中 国 支 店 ☎082(277)5167 〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目2-1
四 国 支 店 ☎087(821)8055 〒760-0066 高松市福岡町2丁目11番6号
九 州 支 社 ☎092(281)3234 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町2番3号

修理についてのお問い合わせは

お客様センター ☎ 0120-054-321

保守点検・所有者登録についてのお問い合わせは

保守点検コールセンター ☎ 0120-493-110

二次元バーコードは製造用コードです。

この取扱説明書は
再生紙を使用しています。



3V015332-3F

M15B231B(1803)HT